

授業科目 老人福祉論Ⅱ

【担当教員名】 松山茂樹	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>

老人福祉論Ⅰで得た基本的な知識を踏まえて、老人の生活問題とニーズに対応した施設および地域における老人福祉サービス実践の現状と課題について理解する。

<学習目標>

- ①高齢者に関する法について学ぶ。
- ②公的介護保険制度を理解する。
- ③高齢者に対する援助技術を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	高齢者保健福祉制度の発展		講義
2	高齢者に関する法—老人福祉法		講義
3	"    —老人保健法		講義
4	"    —介護保険法		講義
5	高齢者に対する保健・医療・福祉サービス		講義
6	介護保険制度による介護サービス		講義
7	介護保険制度以外の主なサービス		講義
8	高齢者と社会福祉協議会		講義
9	高齢者とボランティア		講義
10	高齢者と非営利民間活動		講義
11	シルバーサービスの現状		講義
12	高齢者に対するケアマネジメント		講義
13	高齢者に対する援助技術		講義
14	高齢者と家族に対する相談援助活動		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「老人福祉論」	社会福祉士養成講座編集委員会編	中央法規	2,500円
参考書				
その他の資料	その都度配布する。			

【評価方法】 期末試験	【履修上の留意点】 受け身ではない積極的な参加を望む。
----------------	--------------------------------